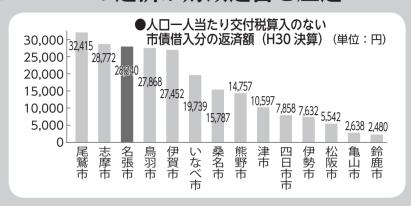
市の財政運営上の課題は?

交付税算入のない市債借入分 の返済が財政運営を圧迫



市債は、学校や道路などの公共施設を整備する際に借り入れるもので、 世代間の負担を公平にする機能を持っています。また、市債には、元利 償還金(返済額)に対して、国が全部または一部を交付税として交付(算 入) するものと、全く交付されないものがあります。

上の表は、交付税算入のない市債借入分の返済額を人口一人当たりで 比較したもので、平成30年度決算において名張市は28,240円で、県 内でも高い水準にあり、この交付税算入のない市債借入分の返済額が多 いことが、市の財政運営を圧迫している大きな要因です。

こうした交付税算入のない市債の返済額が自治体の財政運営の身の丈 にあったものかどうかを判断する基準として「**実質公債費比率**」があり ます。また、将来の財政を圧迫する可能性を判断するものとして「将来 **負担比率**」といった健全化の指標(※)があります。

どちらも、市債返済額の負担が多すぎないかをチェックするもので、 本市は令和元年度決算において、実質公債費比率が 16.1%、将来負担 比率が191.3%で、それぞれ早期健全化に向けた対策が必要とされる基 準を下回っているものの、依然として高い水準(両指標とも県内 14 市 で一番高い水準)にあります。

その要因としては、県内自治体の多くが「合併特例債」などの交付税 算入のある市債を発行しているほか、「都市計画税」を賦課して事業を 推進してきたのに対し、本市では、通常、基金の繰入や一般財源で対応 するような経費でも、「退職手当債」や「行政改革推進債」などの交付 税算入のない市債を発行して対応しなければならないことが挙げられま す。また、病院事業などの公営企業で借り入れた市債の一部を一般会計 で負担しなければならないことも要因です。

こうした中、市は事業の緊急性や必要性、将来の維持管理経費を検証 するとともに、事業費の精査や国・県補助金などの財源確保に取り組む ことで、交付税算入のない市債借入の抑制に努めています。

いずれの会計も黒字 特別会計

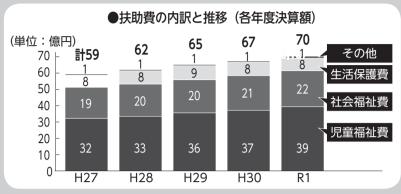
	区		5	ì		歳入決算額	歳出決算額	実質収支額		
住写	它新築資	金	等貸	付事	業	1,390万円	1,356万円	34万円		
東	山墓[園 送	き成	事	業	1億1,402万円	1,053万円			
農	業集落	落 拮	非水	事	業	5億6,157万円	9,896万円			
公	共 下	水	道	事	業	20億5,725万円	19億1,708万円	1億3,316万円		
玉	民级	<u></u>	康(呆	険	82億8,306万円	82億4,427万円	3,879万円		
介	護		保		険	72億1,277万円	70億2,065万円	1億9,212万円		
後	期高	齢	者	医	療	16億9,675万円	16億9,634万円	41万円		
玉	津	財	産	=	区	18万円	12万円	6万円		
合					計	199億3,950万円	194億4,006万円	4億7,436万円		

(注1) 実質収支額は歳入と歳出の差額から翌年度へ繰り越すべき財源を除いた額です。 (注2) 令和2年4月から下水道事業に地方公営企業法を適用したことにより、農業集落排水 事業と公共下水道事業の両特別会計は令和2年3月31日をもって「打切決算」を行いました。

- ▼「一般会計」…教育や福祉、道路の整備など、行政の基本的な事業 を実施していくための会計で、市の会計の中心となります。
- **▼「企業会計」**…民間企業と同じく、事業の収益でまかなわれる会計です。 ▼**「特別会計」**…国民健康保険税や介護保険料など特定の収入があって、 一般会計と財布を分けることで、収支をはっきりさせている会計です。

市の財政運営 課題

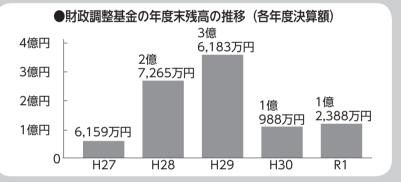
高齢化の進行と待機児童対策 で扶助費が毎年増加



高齢化の進行や福祉サービス従事者の処遇改善に伴う障害者サービス 費(社会福祉費に含む)の増加、待機児童解消のための施策推進などに の実施などにより、前年度比で約2億円増加しました。今後も扶助費の 増加が見込まれますが、介護予防や健康づくりなど健康寿命の延伸に向 けた取組を進めることで、扶助費の抑制につなげていきます。

) 市の財政運営

貯金が少ないため 柔軟な行財政運営に制約が



財政調整基金は、年度間の財源の調整やいざという時のために活用す るものです。市では、令和4年度末の基金残高を6億円とすることを目 標に計画的な積立を行っていましたが、平成30年の台風被害に係る災 害復旧のほか、令和元年度の(新)桔梗が丘中学校の大規模改修や伊賀 南部クリーンセンターリサイクル施設の火災への対応などに基金を取り 崩し、令和元年度末残高は1億2,388万円となりました。

企業会計 病院事業は資金不足が発生

<病院事業会計>

令和元年度の延べ入院患者数は前年度より 942 人減少し 56,335 人。延 ベ外来患者数は前年度より 5.569 人減少し、75.836 人となりました。

患者数の減により医業収益が減となったことなどから、医業収支の合計 は前年度より 6,915 万円の損失増。一般会計からの繰入金などを加えた決 算は3億1,898万円の純損失となり、平成26年度以来となる資金不足が 発生しました(資金不足比率は経営健全化基準の20%を下回る6.1%)。

区分	収	入	額	支	出	額	差	引	額
収益的収3	50億	1,74	16万円	53億	3,64	4万円	△3億	1,89	8万円

<水道事業会計> 問 上下水道部経営総務室 🕋 63 - 4114

令和元年度は、老朽施設の更新や改良事業、老朽管の耐震化工事などを 実施し、安全で安定した水の供給に取り組みました。

収益的収入では、給水収益や受託工事収益、長期前受金戻入が前年度より 減となる一方、収益的支出は減価償却費が増となり、決算は 1,913 万円の 純損失となりました。

	区	分	収	入	額	支	出	額	差	引	額
収	Z 益的	収支	17億	5,17	6万円	17億	8,08	9万円	Δ	1,91	3万円

※実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率のいずれかが、「早期健全化基準」を超えると「財政早期健全化団体」となり、事業の抑制を図らざるを 得なくなります。【早期健全化基準】▶実質公債費比率:25.0% ▶将来負担比率:350.0% なお、名張市の実質赤字比率は、対象となる会計が黒字決算のため算定比率は ありません。また、連結実質赤字比率は、病院事業会計で資金不足となっていますが他の会計の黒字により相殺され全体として黒字となっていますので、算定比率はありません。

一般会計は1億9,584万円の黒字も、基金を取り崩さざるを得ない財政運営に

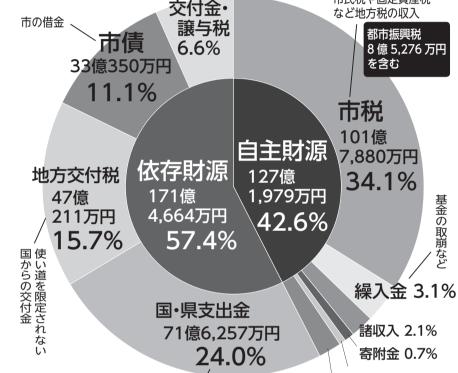
令和元年度の決算が市議会9月定例会で認定されました。

今号では決算を振り返るとともに、市の財政状況について検証します。

問 財政経営室 ⋒ 63 - 7403

-般会計 社会保障関連の扶助費や介護・国保会計への繰出金、学校施設の整備・改修経費が増加





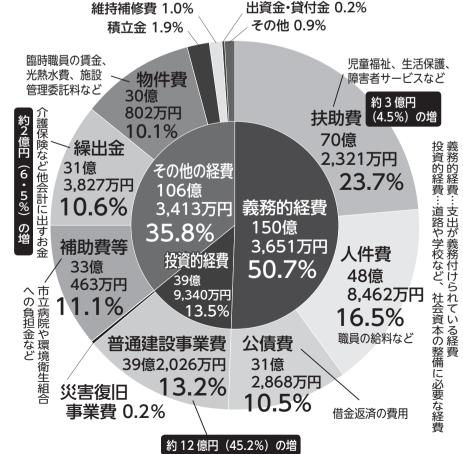
使い道を限定された

国や県からの補助金

使用料及び

その他 1.9%

手数料 0.7%



歲入歲出差引額(**298 億 6,642 万円- 296 億 6,404 万円 = 2 億 238** 万円)から翌年度へ繰り越すべき財源(654万円)を引いた令和元年度一 <u>般会計の実質収支額は 1 億 9,584 万円の黒字となりました</u>

令和元年度は、使い残し予算の徹底や職員給料の独自削減などの歳出抑 制やふるさと納税などの歳入確保に努めたものの、<u>法人市民税が前年度と</u> 比べて 9,164 万円の減収。一方、歳出では、障害者サービス費や民間保育 所措置費などの扶助費、介護保険や国民健康保険特別会計への繰出金が増 加したほか、(新) 桔梗が丘中学校の大規模改修の空調整備の財源に充て るため財政調整基金を取り崩すなど、厳しい財政運営となりました。

■ 左グラフの一般会計決算を家計に置き換えると…

なばりさんちの家計簿は?

医療費や家族への仕送りが大きな負担。 ほしいものを我慢したり、預貯金を引 き出したりしてやりくりしました。

なけでな いで稼 の医療 |税など) ため、 出お 金 つの援助(地一でをまかな)



なばりさん

■収入 58万7千円

◎給与 (市税) 20万円

◎パート・家賃収入(分担金 および負担金、使用料およ び手数料、諸収入・財産収入・

寄附金、交付金・譲与税) 6万5千円

◎親からの援助(地方交付税・ 国県支出金) 23万3千円

◎預貯金の引出し(繰入金) <u>1万8千円</u>

◎住宅・車のローン借入れ <u>6万5千円</u>

◎先月からの繰越金 (繰越金)

■支出 58万3千円 ◎食費(人件費) 9万6千円

◎医療費(扶助費)13万8千円 ◎ローンの返済(公債費)

6万2千円 ◎家の増改築(普通建設事業費、

7万7千円

◎<u>光熱水費 (物件費)5 万 9 千円</u> ◎家や車の修理代(維持補修費)

◎<u>預貯金(積立金) 1 万 1 千円</u>

◎家族への仕送り(補助費等・ <u>繰出金) 12万7千円</u>

◎雑費(その他) 6 千円

市税収入を給与(20 万円)に換算し、その割合で他の収入、支出の各項目に置き 換えたものです。家計の項目に沿って表現したため、内容が異なる場合があります。 ※ () 内は市での区分。千円未満を四捨五入しています。

5千円

◎ 2~5ページで表記している金額は表示単位未満を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。